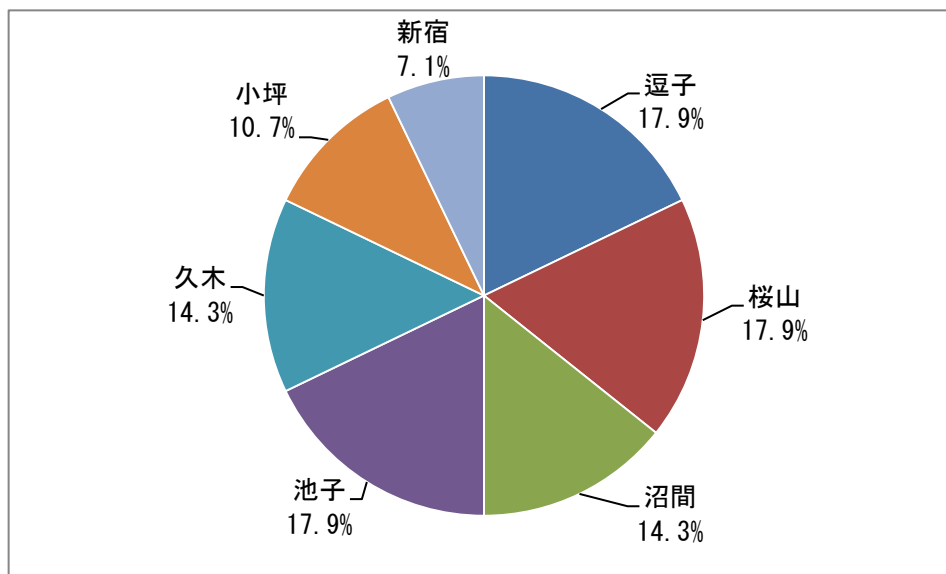


第 10 回 逗子の未来協議会 アンケート結果

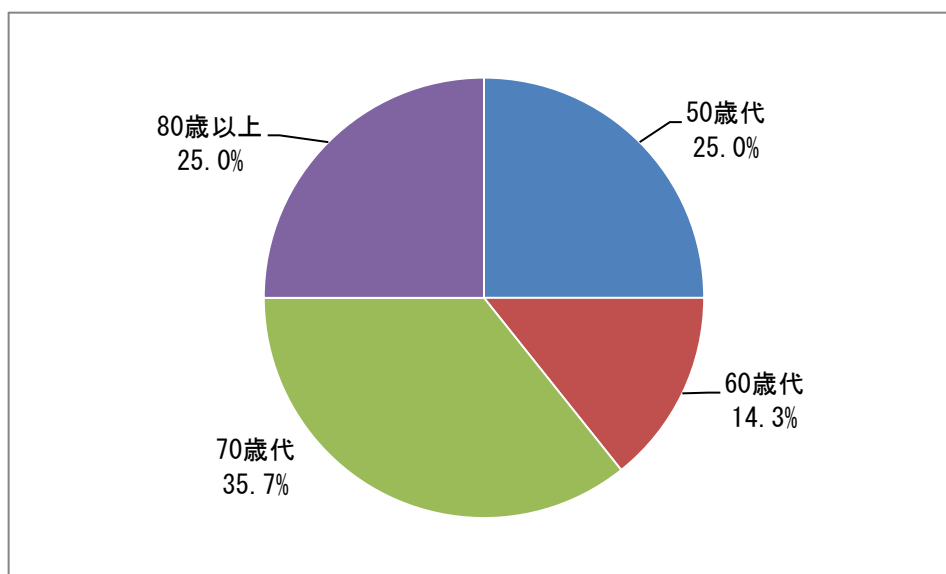
実施日：平成 29 年 9 月 9 日（土）

回収数：28（回収率 93%）

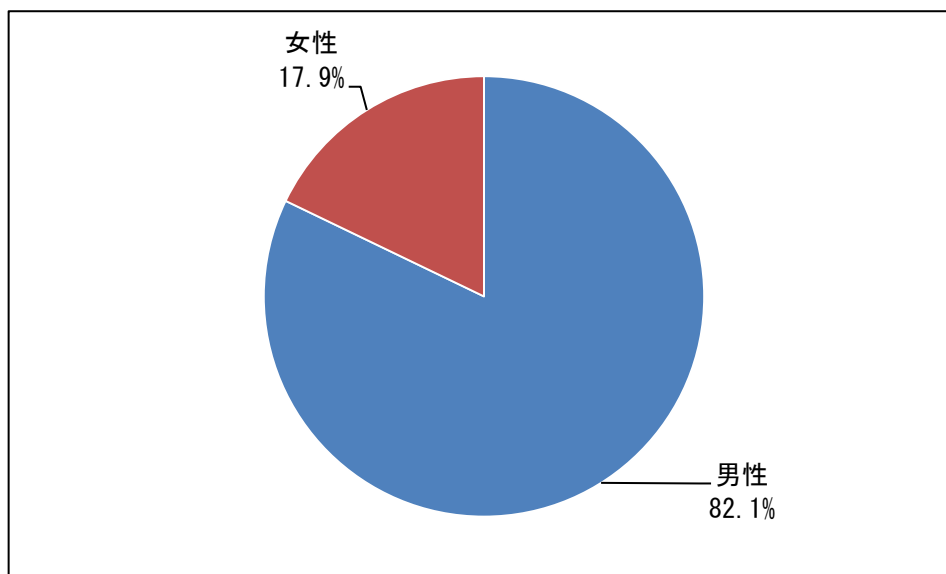
1 第 10 回参加者の居住地域



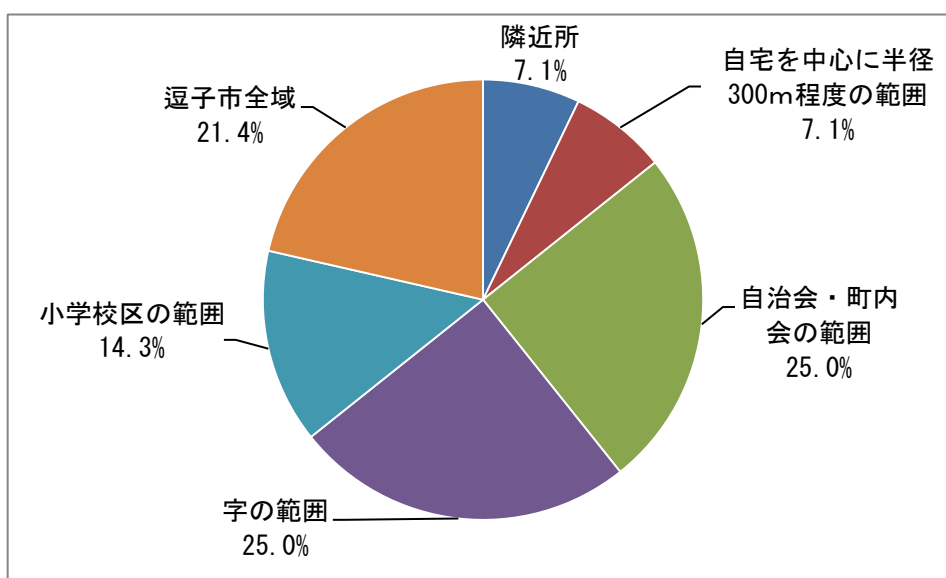
2 第 10 回参加者の年代



3 第10回参加者の性別



4 あなたが日ごろ実感している‘地域’は、どのくらいの範囲ですか。



5 「地域の視点から考えるまちづくり」について、あなたが地域の活動で大事にすること、大切にしたい地域に対する考えや価値観、地域での活動をより活発にするための方法や仕組みなどを記入してください。

<安全・安心、楽しさ>

- ◆ 安心、楽しく暮らせるか。
- ◆ 高齢者の安全・安心対策。
- ◆ 「安全で安心な、お互いに信頼関係を構築できる地域」にしたい。小学校区住民自治協議会の活性化をよくする。

- ◆ 楽しんでやれるような、気負いしない良い意味でゆるいつながり。
- ◆ 地域は持続する存在、従って地域の活動には持続性が必要。
→ 楽しく有意義な日常的活動とする努力を要す。
- ◆ 皆が楽しく生活するためのツールと考える。会のための会ではなく、住民のための会。

<コミュニケーション、挨拶>

- ◆ コミュニケーション。
- ◆ 隣近所のコミュニケーションを深くする。
- ◆ 向こう三軒両隣の付き合い方を行う。
- ◆ 高齢者、健常者を先頭にして活動する。
- ◆ みんなを支えていく、支えられていく。
- ◆ コミュニケーションの充実。
- ◆ 顔見知りになること、自由に言い合えること。
- ◆ 挨拶ができること。
- ◆ とにかく周囲の顔が見える関係。それは会釈だけでも構わないと思う。顔が見えることから始まり、そこから生まれてくるものがあるのではないか。それが互いの価値観の擦り合わせ、活動の活発化、情報の共有などへつながっていくと考えている。
- ◆ まずは隣近所との顔つなぎ。リーダーシップがある人が必要。
- ◆ 日頃からの人間関係、コミュニティ作り、挨拶が大事だと思う。それができないと地域の活動は始まらない。
- ◆ 世代間対立することなく、年取った人も若い時に子育てしていた時もあったということは忘れずに意見の交換ができると信じています。
- ◆ 隣人の顔が見えること(顔見知りであること)。
- ◆ 挨拶、顔の見える関係。
→ 会話ができれば、全ての問題の取っ掛かり、または問題化しない状態になる。
- ◆ ①挨拶
②地域＝顔見知り＝人それぞれの家族構成、生活スタイル、価値観が関係作り違うことを大切に尊重し合った。
③同世代同士のつながりから始める。
地域をまたいでも OK=人が少ないからスケールメリット

<役割分担>

- ◆ リタイア世代、現役世代は地域へ関われる時間が異なる。無理なくそれぞれの役割で関われる、参加ができることが大事。
- ◆ 役割分担して、身体不自由な身分でも参加できる仕組みを作ってほしい。
- ◆ 各家庭や世代によってニーズ異なる。
→ グループ分けして、役割分担するのも面白い。

＜システム・仕組みづくり＞

- ◆ 地域の中で発言できる人ばかりでなく、発言力の弱い人の意見を取り入れるシステム作りが最重要課題に思います。
- ◆ 住民・自治会等が自由に町内の環境を利用できる条例を作してほしい。又、反対に自由を縛られる条例の緩和をしてほしい。
- ◆ 地域で生活していくうえで助け合いが大切なこととは理解しているが、自分の力をどのように発揮すればよいのか、まず、その仕組みを作ることやニーズの吸い上げ等、作り上げることがたくさんあることを実感しました。世代ごとに地域をスライスしたような横のつながりもあるとよいと思いました。
- ◆ やらされた感をいかに解消することが大切。そのためには楽しめる仕組み作りが必要。
- ◆ ①市（行政）のまちづくり
 - ・健全で効率的な行政経営効果が最適で最大となる行政経営
 - ・パートナーシップ（協働）によるまちづくり
 - ・逗子らしさを損なわないまちづくり
- ◆ ②行政市民の協働によるまちづくり
 - ・行政と市民が力を合わせた時、1+1が2以上になること（効率重視）
 - ・目標を共有する
 - ・責任を共有する（情報の共有、説明責任）
- ◆ ③地域のまちづくり
 - ・毎日の生活に根ざしたものを優先させる
 - ・何をやるのではなく、しないで済む仕組み作り
 - ・公共の価値観の共有
 - ・情報の共有
 - ・地域自治に参加しないからといって不利益をこうむらない
 - ・人間関係が悪くならない

＜負担の軽減＞

- ◆ 世代・各家庭の事情により、自分の関心事、自分にとって必要な事（分野）は違ってくると思います。自分にとって必要と思われる地域活動に負担がかからない程度に少しずつ参加したらいいと思います。
- ◆ 役職の負担を減らすこと。やらなければならないという感覚を減らす。
- ◆ 当番・班長などを一人の負担にせず、グループ制として役割を共有するとともに、関わりをお互いにもつことでつながりを強くする。
- ◆ 役員の仕事のシェア、協力。

＜参加者を増やす工夫＞

- ◆ 地域活動には、子どもを参加させ、大人の姿を見せる。
→ 将来的に地域を育てる、地域を愛する心が育つ。
- ◆ 地域活動に参加している人は高齢者の俺たちが頑張る・・・という視点でいる人が

- 多い。子どもを参加させると、母親も必然的に参加するので活気が出る。
- ◆ 参加率向上、敷居を下げる為に、趣味・サークル活動なども入れると良いと思う。
 - ◆ 自治会の内容を充実させること。自治会会員の意識の向上を図る。役員を留任させること。
 - ◆ 地区の掃除や草むしりを通じた地域活動。
 - ◆ 地域の美化、緑化の草刈りは行っているが、ボランティアで作業のできる人を集めることが大変です。

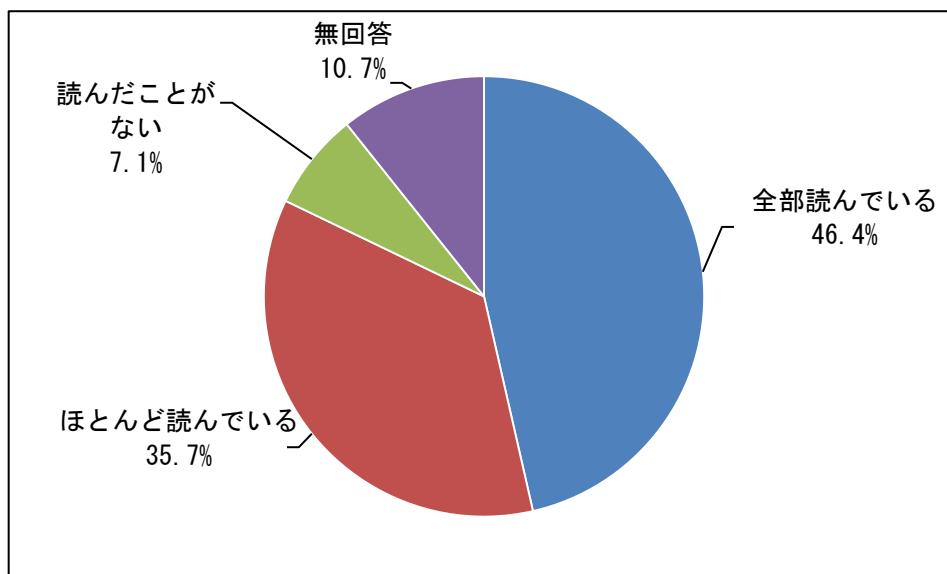
＜地域に対する考え＞

- ◆ 自分たちの住地域の良いことを取り上げて地域の発展に尽くすべく努力すべきです。地域の人たちに感謝し、協力するべきと思います。
- ◆ 考え方やライフスタイルが異なり、高齢化が進む「逗子」でも字単位では状況が異なることが理解できました。自治会・町内会活動が活発な地域に必ずしも逗子全域が目指す必要はないと思います。活動が活発な自治会・町内会が少し地域の範囲を広げていただいて新たな視点で活動していただくのも一つの方法ではないかと思います。
- ◆ 「地域」の定義から考え始めてしまいました。というわけで今は答えが出せません。
- ◆ それぞれの人にとって居場所になること。だれでも受け入れること(多文化共生)。
- ◆ 課題探し(住民の声を徹底的に聞き、その中からの課題・・・地域としての・・・を探ること)。
- ◆ 世の中は高齢化社会に進行しつつある。輪番で隣組の世話役が決められているか。これができない高齢の人が今後出るだろう。この様な高齢化の問題をどうするか。
- ◆ 「自治」とは何かについて討論を要する。自治会の自治と市の自治とは違う。「協働」という用語は使うべきでないが、自治会は市の下請けでなく互いに協力できるとよい。よく話し合える地域のための地域拠点や相談相手(市民交流センターに配置?自治会の人を)も必要だ。

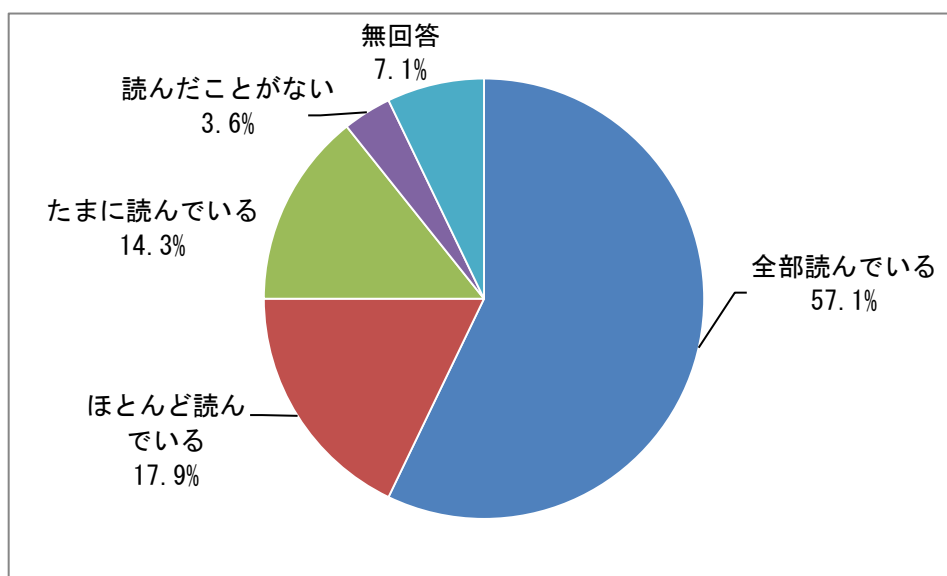
＜地域に対する姿勢＞

- ◆ 30年後の街のあるべき姿を常に想像する姿勢の維持。
- ◆ まず、自分ができることから取り組むことが大事。
→ 自主的に取り組めることであれば、モチベーションの維持につながる。
- ◆ 他人事 → 自分事への転換

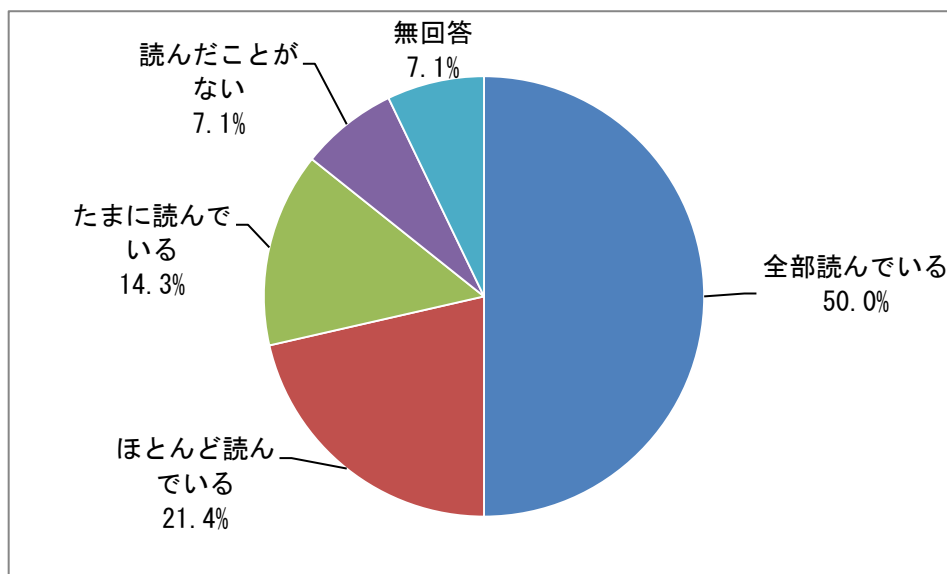
6 前回のアンケート集計結果を読んでいますか？



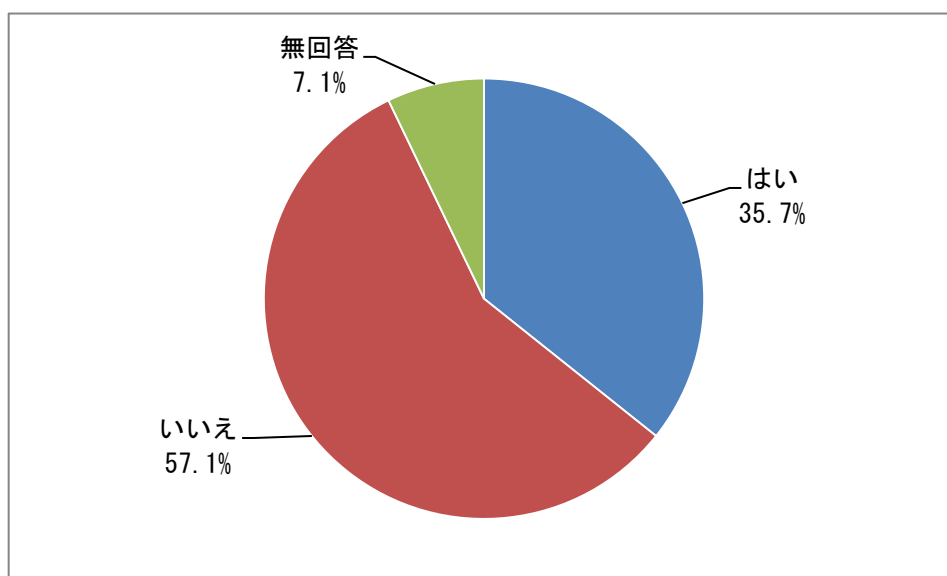
7 前回のグループワークのまとめを読んでいますか？



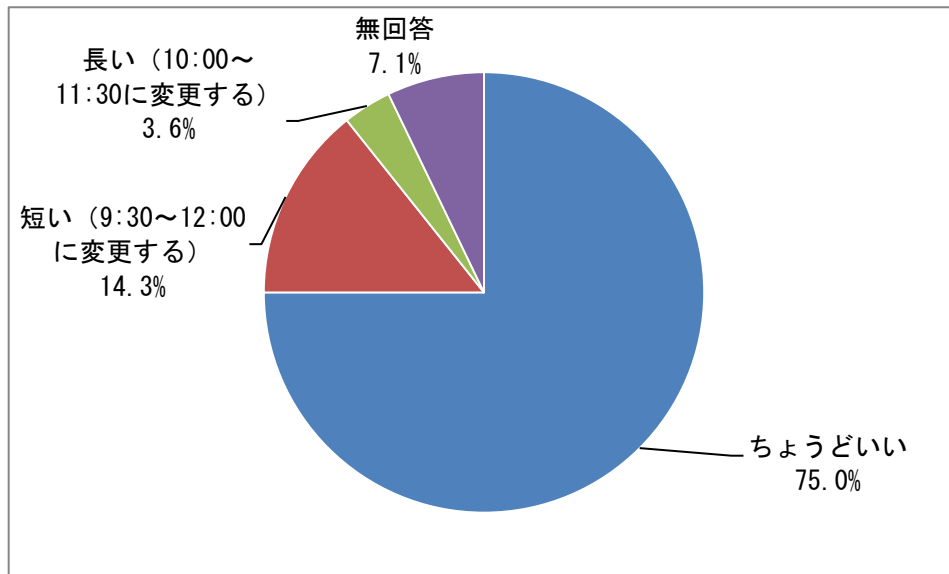
8 ワークショップレポートを読んでいますか？



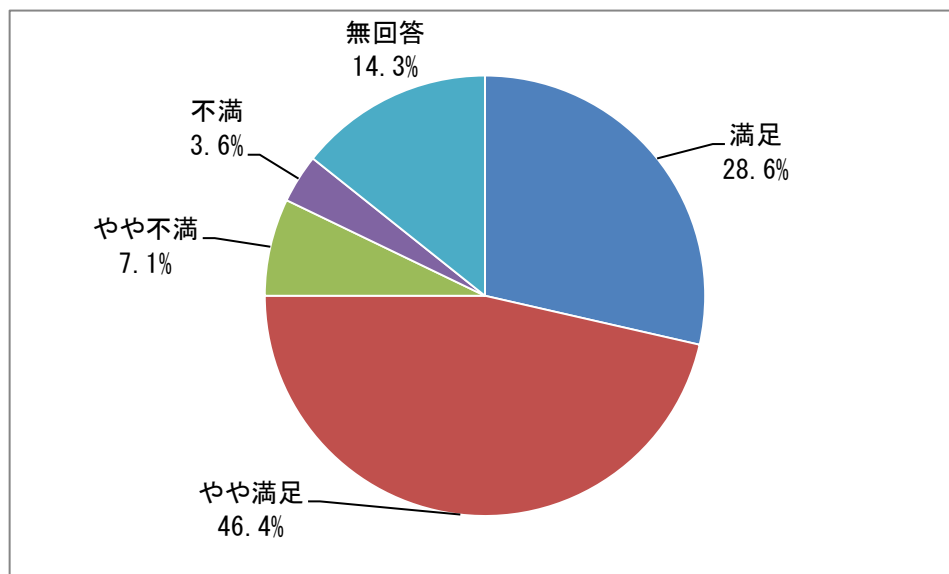
9 逗子の未来協議会のフェイスブックをご覧になったことがありますか？



10 逗子の未来協議会の開催時間は基本的に2時間です。開催時間についてどのように感じですか。



11 第10回の感想



【「1. 満足」を選択した理由】

- ◆ 東さんのファシリテータがよくなりました。
- ◆ いろいろな意見を聞くことができ、考える参考になる。
- ◆ 皆さんの意見もよく理解できたし、自分の意見も言えました。
- ◆ さまざまな立場の方の意見が聞けてとても参考になりました。このような情報交換や交流の場があればよいと思います。

- ◆ 初めての参加で他にはない行政の直接感が良い。
- ◆ 各回のテーマがよく選ばれ、着実に目的に向かって検討が進行しつつある。
- ◆ いろいろな意見が出ておもしろいです。

【「2. やや満足」を選択した理由】

- ◆ いろいろと意見を聞くことができた。何ができるか難しいが、取り組む努力を続ける必要はある。
- ◆ 意見の多い個人には発言させないやり方を考えてみては。
- ◆ 強い（熱い）思いの方の発言は緩い自分とは異なるので面白いと思いますが、重いです。
- ◆ 議論が熱かった。職員が2人ととてもはっきりしていて気持ちがいい。
- ◆ 本件から外れる意見がよく出て、無駄な時間が割かれている。時間は1時間30分で十分ではないか。
- ◆ 説明の発表が早口すぎる。聞きながら考えられるにはもう少しゆっくりはっきり話す。
- ◆ 時間配分も適当であった。
- ◆ 身近なテーマなので話し合いがよくできた。
- ◆ 活発な話し合いができた。

【「3. やや不満」を選択した理由】

- ◆ 趣旨から外れる発言者がいたことが残念。
- ◆ 時間不足。

【「4. 不満」を選択した理由】

- ◆ 全体について話し合う場はやはり必要なので、最後の30分を割り当ててほしい。